



<https://www.nihonbunka.or.jp/>

令和4年度事業報告 附属明細書
令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」
第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。
令和5年8月28日

公益財団法人日本文化興隆財団

令和4年度事業報告書（令和4年7月～令和5年6月）

公益財団法人日本文化興隆財団



田んぼ学校の再開

公益財団法人日本文化興隆財団 令和4年度 事業報告書 (令和4年7月～令和5年6月)

公益財団法人日本文化興隆財団

当財団の事業体系

- 公益目的事業1 — 日本の伝統精神と文化を伝える事業
 - 1 日本文化の興隆事業
 - (1) 田んぼ学校
 - (2) 日本文化セミナー
 - (3) 鎮守の森保全活動
 - 2 季刊誌『皇室』の頒布普及事業
 - 3 検定事業 — 神道文化検定（神社検定）
 - 4 皇室敬慕に関する事業 — 皇居参賀奉祝事業
- 公益目的事業2 — 国旗小旗の無償頒布を通じた国旗啓発事業
- 公益目的事業3 — 国民の健全育成事業
 - (1) 硫黄島訪島事業
 - (2) 建国メモリアル・ザ・マーチング
コンテスト後援事業
- 収益事業1 — 物品頒布事業
- 収益事業2 — テナント及び貸会議室の施設運営
 - (1) テナント事業
 - (2) 貸会議室の施設運営
 - (3) 大規模修繕工事

※令和3年～4年度のみ

令和4年度 公益目的事業1

日本の伝統精神と文化を伝える事業

日本文化の興隆事業

第14回・第15回

田んぼ学校

(1) 田んぼ学校

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」を体験を通して学ぶ「田んぼ学校」を平成19年より継続開催している。新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年以降、中止が続いていたが、令和4年6月の田植えから参加人数を制限し再開した。また、圃場体験だけではなく自宅でも稲作体験ができるようにJAグループの協力でバケツを利用した稲作体験セット「おうちで田んぼ学校」を昨年に続いて製作し、参加者は収穫まで各々成長記録をX(Twitter)で投稿し、収穫後は、田んぼ学校の収穫米と共に事務局で取りまとめ、神宮の神嘗祭に懸税として奉納した。

◇第14回田んぼ学校

日 時：令和4年10月2日(日)※稲刈り
場 所：埼玉県熊谷市（古宮神社・近接圃場）
協 力：古宮神社・農協観光株式会社・國學院大學
参加数：30名

参加費：大人11,600円・小人9,500円（田植え・稲刈りセット）

◇第15回田んぼ学校

日 時：令和5年6月18日(日)※田植え
場 所：埼玉県熊谷市（古宮神社・近接圃場）
協 力：古宮神社・農協観光株式会社・國學院大學
参加数：94名

参加費：大人11,600円・小人9,500円（田植え・稲刈りセット）



令和4年度 公益目的事業1

日本の伝統精神と文化を伝える事業

おうちで田んぼ学校

公益財団法人日本文化興隆財団 × JAグループ

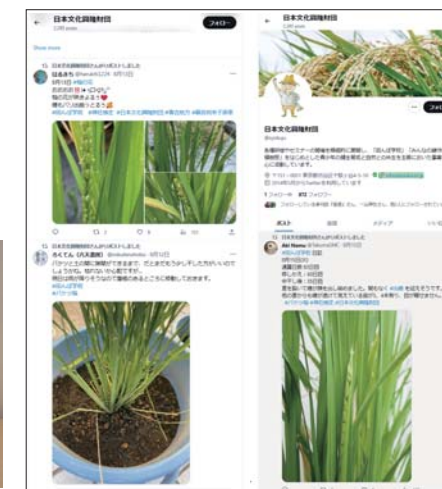
◇おうちで田んぼ学校

募集期間：令和5年5月1日～5月25日

参 加 数：25名

参 加 費：3,850円(教材・送料込)

協 力：JAグループ・農協観光株式会社



(2) 日本文化セミナー

各種セミナーの開発に努め、歴史や伝統文化に培われた我が国固有の精神文化を学ぶ独自の講演会及び、各種研修会等を開催する目的から、以下のセミナーを開催した。

◇古事記講座「日本を元気にする古事記のころ」

『古事記』の一般的な解釈講座ではなく、その紙背にある心を解釈する講座を開催した。

日 程：令和4年 7月25日(火)・令和4年8月22日(月)
令和4年11月21日(月)・令和5年5月22日(月)
令和5年 6月26日(月)

時 間：各18時20分～19時50分

講 師：小野善一郎

(群馬・渋川八幡宮宮司・國學院大學講師)

会 場：日本文化興隆財団会議室

参加数：各20名～30名

◇大祓詞講座「大祓詞のころ」

一般を対象に大祓詞の解釈を中心に、日本人が生み出した「祓」の精神を学ぶ講座を開催した。

日 時：令和4年11月28日(月) 18時20分～19時50分

講 師：小野善一郎

(群馬・渋川八幡宮宮司・國學院大學講師)

会 場：日本文化興隆財団会議室

参加数：20名

(3) 鎮守の森保全活動

平成24年6月から平成27年6月の3年間にわたり、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏指導のもと東日本大震災で被災した全11箇所の神社において計21,318本の常緑広葉樹を主体に植樹祭を開催し、その後、補植を含めた森の育成観察を継続している。また、NPO法人地球の緑を育てる会と共催で、茨城県の筑波山神社において森の保全活動事業を実施した。

◇筑波山水源の森づくり-筑波山神社の鎮守の森で植樹体験-

NPO法人地球の緑を育てる会が、筑波山神社の鎮守の森を保全育成するプロジェクトとして継続してきた事業に当財団が共催した。

筑波山は、戦後に植林された人工林の多くが放置されてきたことから、本来の自然に近い広葉樹林化に誘導する長期にわたる事業となる。

開催日：令和5年5月28日(日)

会 場：筑波山神社

参加数：220名

共 催：NPO地球の緑を育てる会・公益財団法人日本文化興隆財団・筑波山神社

協 賛：光明山法灌寺

後 援：つくば市・茨城森林管理署

協 力：明るい社会づくり筑波協議会・土浦ライオンズクラブいのちの森づくり

参加費：無料・お弁当付き



季刊誌 皇室

THE IMPERIAL FAMILY

あなたに夢を、街に元気を。
7-5111 宝くじ

2 季刊誌『皇室』の頒布普及事業

季刊誌『皇室』を年4回定期発行し、令和4年度は95号から98号を刊行した。
継続的に日本宝くじ協会に助成金申請を行い、各号毎、全国公立図書館3100箇所、地方自治体議会
図書館400箇所、計3,500箇所への寄贈活動を行い不特定多数に向けて皇室への理解促進と敬慕の念
の醸成に努めた。

第98号（令和5年春号）
◇天皇陛下のお誕生日
◇皇室と動物
皇室の方々の動物への思いをご紹介します
◇佳子内親王殿下28歳のお誕生日をお迎えに

第96号（令和4年秋号）
◇エリザベス女王 国葬ご参列
◇大特集 天皇陛下のご研究
◇皇室と展覧会
◇上皇・上皇后両陛下のご近況
◇春日若宮式年造替 ご本殿修理

第97号（令和5年冬号）
◇本格的に再始動！
両陛下はじめ皇族方の地方ご訪問
◇敬宮殿下21歳のお誕生によせて
◇新しくなった秋篠宮邸
◇春日若宮式年造替 正遷宮

第95号（令和4年夏号）
◇皇室と医療 人々の命に寄り添われて
◇天皇陛下がバイデン大統領とお会いに
◇立皇嗣の礼を終えられたことをご奉告
秋篠宮・同妃両殿下 神宮ご参拝
◇令和の「宮家」常陸宮家・三笠宮家・高円宮家

季刊誌『皇室』公式 X(Twitter)を開設

令和3年9月に、季刊誌『皇室』公式 X(Twitter)を開設し、最新号の案内や、バックナンバーの
記事、ご動静や日本文化の関連記事を掲載するなど、不特定多数に向けた広報をおこなった。



3 検定事業

第11回神道文化検定（神社検定）をオンラインで継続開催

神社、神道、日本文化の理解促進を図る事業として全国で開催している
が、令和5年で第11回を迎え、全国から2,451名が申し込み、令和5年6月
25日(日)に開催した。第1回からの累計受検者数は4万人を超えている。
感染症拡大により、昨年の第10回に引き続き、感染症対策により、会場
試験を一時中断してオンラインでの開催を継続した。
オンライン上での合否判定は、7月13日(木)に公式サイトにて発表し、郵
送での成績通知は8月31日を予定している。

名 称：第11回神道文化検定(神社検定)
主 催：公益財団法人日本文化興隆財団
監 修：神社本庁
後 援：國學院大學・皇學館大学・一般財団法人神道文化会・扶桑社
日 程：令和5年6月25日(日)
実施内容：壹級/指定テキストから総合的に出題
貳級/神社の歴史と神話
参級/神社の基礎と神話
初級/神社を知ろう
受 検 料：壹級7900円・貳級6900円・参級5700円・初級3500円

①広報活動

◇埼玉県神社庁主催「神主さんと神社を学ぼう」に参画
会場内に神社検定PRコーナーを設営して「おためし神社検定」を実施
したところ約500名の一般の方々が受検した。
日 時：令和5年3月26日(日) 9時30分～16時30分
会 場：武蔵一宮氷川神社社務所内
参 加 費：無料
参 加 数：約500名（おためし神社検定受検者数）
受検方法：QRコードからスマホで受検もしくは、筆記での受検を選択



◇インターネットラジオ「ADee（オーディー）」の活用
東京FMが運営するインターネットラジオ「ADee」で神社検定提供番組
「神社の時間」を昨年に引き続き制作、配信した。
同番組は、同検定壹級合格者の声優・野島健児がパーソナリティーを
務め、毎回声優のゲストを迎え、神社検定の問題を解きながら神社の
話題を中心にしたトークと声優陣で構成した神話ドラマで構成され、
幅広い層を対象に神社や神道への理解促進を図った。



【番組概要】
配信日：令和5年4月1日(土)～6月24日(土)毎週土曜日配信 全13回
提 供：公益財団法人日本文化興隆財団
聴取方：「AuDee（オーディー）」でいつでも聴取可能
「AuDee（オーディー）」はスマホアプリまたはWEBサイトから視聴可能。



◇WEB広告

WEB上での広報活動を展開した。（4月1日～5月31日）
ターゲット層：12歳～69歳
・X(Twitter) 広告（プロモ広告）：通常ツイートと同形式で配信。リツイートで二次拡散を図る。
・Google広告：潜在層にアプローチして認知拡大を図る。

②セミナーの開催

◇神道基礎講座の開催

神社の崇敬者を対象に神道の基礎知識講座を開催した。
日 時：令和5年5月21日(日) 10時～12時
会 場：多摩湖水川神社社務所（東京都東村山市多摩湖町）
講 師：伊豆野誠氏
参加数：一般21名
参加費：無料



◇「奈良の古社を巡る」開催

神社検定受検者を対象に、季刊誌『皇室』で連載した、春日大社「若宮」
の式年造替を学ぶ現地セミナーと奈良の古社を巡るセミナーを開催した。
日 程：令和5年3月17日(金)・18日(土)・19日(日) ※全3回開催
場 所：春日大社・大神神社・談山神社
行 程：近鉄奈良駅集合
春日大社（本殿、若宮正式参拝・境内解説）
大神神社（正式参拝・三ツ鳥居特別拝観・境内案内）
談山神社（正式参拝・十三重塔特別拝観）
大和八木駅解散
参加数：各35名 合計105名
参加費：25,000円税込



◇神社検定対策講座の開催

問題の出題傾向と対策講座として各級別に会場及びオンラインで開催した。
実施日：【参級】令和5年5月30日(火)/【貳級】令和5年5月23日(火)/【壹級】令和5年5月24日(水)
時 間：18時～20時
会 場：公益財団法人日本文化興隆財団
参加費：会場参加 参級・貳級3,300円税込/壹級4,400円税込
オンライン 全級共通1,320円税込
参加数：参級 会場参加33名・オンライン参加77名 計110名
貳級 会場参加35名・オンライン参加84名 計119名
壹級 会場参加16名・オンライン参加54名 計70名
合計299名

◇「見て触れて学ぶ神社のいろは」開催
テキストでは知ることができない神社の祭器具、装束、調度品など基本的な知識を直接見て、触れて学ぶ神社有職故実の入門講座を受検者対象に國學院大學祭式教室で開催した。



日 時：令和5年5月 6日(土)13時～15時30分
令和5年5月20日(土)13時～15時30分
講 師：國學院大學神道文化学部 星野光樹准教授
会 場：國學院大學祭式教室
内 容：作法編[手水の使い方・拝礼作法・修祓・本殿の構造・神饌など]
有職故実編[神職の持ち物・装束など]

参加数：各50名 合計100名
参加費：7,700円税込

③第11回神道文化検定（神社検定）受検者統計

□受検者数と合格率

壺級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	259名	239名	163名	68.2%	76.5点 /100点
貳級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	512名	448名	276名	61.6%	73.5点 /100点
参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	1,072名	1,000名	811名	81.1%	81.3点 /100点
初級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	608名	542名	519名	95.8%	45.5点 /50点

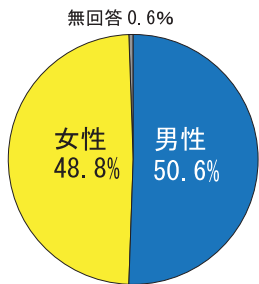
□年齢別

壺級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
		1名	13名	32名	63名	65名	50名	15名			239名
貳級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
		11名	56名	56名	107名	151名	60名	6名	1名		448名
参級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	40名	170名	150名	228名	291名	96名	23名	1名		1,000名
初級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	24名	45名	90名	140名	167名	60名	15名			542名

2,229名

□男女比

	壺級	貳級	参級	初級	総計	%
女性	97名	202名	509名	279名	1,087名	48.8%
男性	141名	244名	485名	259名	1,129名	50.6%
無回答	1名	2名	6名	4名	13名	0.6%
総計	239名	448名	1,000名	542名	2,229名	100.0%



□受検者数と合格者数

	都道府県	オンライン壺級			オンライン貳級			オンライン参級			オンライン初級			合計		
		申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者
1	北海道	8	8	7	12	10	7	25	23	21	22	19	18	67	60	53
2	青森県	0	0	0	3	3	1	5	5	3	5	5	5	13	13	9
3	岩手県	2	1	1	0	0	0	2	2	2	2	0	0	6	3	3
4	宮城県	2	2	2	5	4	3	18	16	11	9	6	6	34	28	22
5	秋田県	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0
6	山形県	2	2	1	2	2	2	4	4	3	2	2	2	10	10	8
7	福島県	3	2	1	4	3	2	6	5	4	3	3	3	16	13	10
8	茨城県	2	2	2	7	6	3	21	19	12	12	11	9	42	38	26
9	栃木県	2	2	2	1	1	1	11	10	7	7	6	5	21	19	15
10	群馬県	6	6	4	5	5	5	10	9	7	6	5	5	27	25	21
11	埼玉県	28	27	20	46	40	25	105	98	79	68	58	57	247	223	181
12	千葉県	15	13	9	31	29	15	70	67	60	43	41	40	159	150	124
13	東京都	56	52	36	127	111	66	223	210	163	118	109	103	524	482	368
14	神奈川県	19	17	13	42	35	25	89	85	72	59	54	52	209	191	162
15	新潟県	3	3	2	6	6	4	13	11	10	9	8	7	31	28	23
16	富山県	1	1	0	4	4	3	4	4	4	6	6	6	15	15	13
17	石川県	2	2	2	2	2	2	4	3	3	2	1	1	10	8	8
18	福井県	1	1	1	2	1	1	4	4	3	2	2	2	9	8	7
19	山梨県	1	1	1	4	3	2	6	6	4	2	2	2	13	12	9
20	長野県	3	2	2	4	4	2	13	13	9	5	4	4	25	23	17
21	岐阜県	4	4	2	7	7	5	10	10	8	8	8	8	29	29	23
22	静岡県	4	3	1	11	9	7	28	27	24	12	12	11	55	51	43
23	愛知県	9	9	7	31	29	14	45	40	32	18	17	17	103	95	70
24	三重県	6	6	4	16	15	10	21	19	15	5	4	4	48	44	33
25	滋賀県	1	1	0	3	3	1	9	9	9	8	6	6	21	19	16
26	京都府	11	10	9	14	12	7	22	19	16	11	10	9	58	51	41
27	大阪府	18	15	7	32	28	16	78	76	62	54	47	43	182	166	128
28	兵庫県	8	7	3	19	16	9	49	41	35	18	17	16	94	81	63
29	奈良県	2	2	1	11	7	5	9	8	8	3	2	2	25	19	16
30	和歌山県	2	2	0	1	1	1	4	4	4	2	2	2	9	9	7
31	鳥取県	0	0	0	1	1	1	6	6	4	4	3	3	11	10	8
32	島根県	1	1	0	2	2	1	10	10	7	4	3	3	17	16	11
33	岡山県	8	7	5	7	5	2	12	11	7	9	7	7	36	30	21
34	広島県	6	6	5	13	12	7	18	17	14	11	10	10	48	45	36
35	山口県	1	1	0	6	6	4	15	13	12	4	3	3	26	23	19
36	徳島県	1	1	0	0	0	0	1	1	1	3	2	2	5	4	3
37	香川県	2	2	2	3	3	1	4	3	2	4	3	3	13	11	8
38	愛媛県	3	3	1	2	2	0	4	4	4	3	3	3	12	12	8
39	高知県	0	0	0	1	1	0	2	1	1	1	1	1	4	3	2
40	福岡県	6	5	2	11	10	9	35	35	30	17	17	17	69	67	58
41	佐賀県	0	0	0	2	1	1	5	5	3	0	0	0	7	6	4
42	長崎県	3	3	2	0	0	0	4	4	3	3	3	3	10	10	8
43	熊本県	1	1	1	3	3	1	11	9	9	4	4	4	19	17	15
44	大分県	1	1	1	2	2	1	12	10	8	7	5	5	22	18	15
45	宮崎県	2	2	2	2	1	1	5	5	3	2	1	1	11	9	7
46	鹿児島県	3	3	2	3	2	2	14	14	10	9	9	8	29	28	22
47	沖縄県	0	0	0	1	1	1	5	4	3	2	1	1	8	6	5
48	総計	259	239	163	512	448	276	1,072	1,000	811	608	542	519	2,451	2,229	1,769

④出版活動

公式テキスト累計発行部数24万部突破

書名	発行部数	電子書籍	合計	書名	発行部数	電子書籍	合計
神社のいろは	60,500	2,368	62,868	万葉集と神様	7,000		7,000
神話のおへそ	34,000	719	34,719	神話のおへそ『古語拾遺』編	8,900		8,900
神社のいろは続	23,000	826	23,826	神話のおへそ『日本書紀』編	10,000		10,000
遷宮のつぼ	18,000	292	18,292	伊勢神宮と、遷宮のかたち	5,700	57	5,757
神社のいろは要語集宗教編	5,900		5,900	マンガならわかる！『日本書紀』	6,000	2,368	8,368
日本の祭り	9,000		9,000	マンガ神社のいろは	6,500	2,271	8,771
神社のいろは要語集祭祀編	4,600		4,600	神社検定問題と解説（第1回から第10回）	39,100		39,100
						合計	247,101

令和4年度 公益目的事業 1 日本の伝統精神と文化を伝える事業

4 皇室敬慕に関する事業
本事業は、国民の皇室への敬愛の念を育む各種文化事業、広く国民のその趣旨を伝える奉祝事業を推進することを目的としている。
これまで、皇居一般参賀において国旗小旗の頒布事業をおこなってきた一般社団法人国旗協会が解散したことを受け、これまで同協会を支援してきた諸団体と連携し、皇居参賀奉祝委員会を結成、皇居参賀奉祝事業として、215名のボランティアの奉仕で事業継承した。
活動の財源は、皇居参賀奉祝委員会に所属する各団体ほか、一般に向けて季刊誌『皇室』に寄附の依頼を掲載したほか、ホームページからも容易に寄附ができる専用サイトを制作するなど広く不特定多数に協力を求めた。

◇皇居参賀奉祝事業
主催：公益財団法人日本文化興隆財団
皇居参賀奉祝委員会（以下10団体）
不二歌道会・モラロジー道德教育財団・新教育者連盟
東京都神社庁・東京都神社スカウト協議会・日本会議
東京都本部・まほろば教育事業団・谷口雅春先生を学ぶ会・全日本学生文化会議・日本青年協議会

①新年一般参賀
日 時：令和5年1月2日（祝・月）午前6時～午後4時
場 所：皇居桜田門
配布数：約6,500本（参賀者数：7,312名）
奉仕者：87名

②天皇誕生日一般参賀
日 時：令和5年2月23日（祝・木）午前6時～午後1時
場 所：祝田橋側参入口・二重橋前の退出口
配布数：約4,000本（参賀者数：3,963名）
奉仕者：128名

【寄附金について】

寄附金額：5,000 円以上

※公益財団につき寄附金は、所得税、法人税の税制上の優遇措置を受けることができる。

寄附方法：①インターネット
（クレジットカード・コンビニ払い）
②銀行振込・郵便振替

興隆財団 寄附 検索



QRコードから寄附が可能



令和4年度 公益目的事業 2 国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業

国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業
当財団の公益事業の柱として、毎年全国の敬神婦人会のボランティアによる協力を得て、約11万本の奉製を戴き、国旗啓発事業としての助成事業を行っているが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、皇族方のご動静、各種奉祝行事や大会、イベントの開催が減少し、作成数及び助成申請も減少している。

《頒布数》
申請団体：29団体
助成本数：7,590本

《頒布数》
令和元年度：申請受理件数71件/申請本数75,200件/助成本数 49,530本
令和2年度：申請受理件数23件/申請本数11,550本/助成本数 5,450本
令和3年度：申請受理件数28件/申請本数60,050本/助成本数 54,986本（内42,550本は神青協事業）
令和4年度：申請受理件数29件/申請本数10,400本/助成本数 7,590本

令和4年度 公益目的事業 2 国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業

国旗小旗頒布数一覧

頒布行事名	申請本数	助成本数
日本唱歌を歌う日の丸行進	50	50
出雲駐屯地開設69周年記念行事市中パレード	1,000	1,000
弘前駐屯地 自衛隊市中パレード	1,000	1,000
日の丸フェスティバル2022	1,000	1,000
第132回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	100
第133回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	100
北海道恵庭支部・千歳市 成人式	800	800
第134回日本唱歌を歌う日の丸行進	50	0
国旗掲揚の推進をアピールする1.27御堂筋パレード	1,500	100
日本の建国をお祝いする集い	500	400
浜松市建国記念の日奉祝式典	1,000	1,000
橿原神宮参道日の丸行進の会	2,000	1,000
日本の建国をお祝いする市民の集い	500	240
第57回建国記念の日伊勢奉祝の集い	600	600
皇紀2683年建国記念の日奉祝祈願祭	200	200

頒布行事名	申請本数	助成本数
建国記念の日奉祝パレード	300	300
日本の建国をお祝いする集い	150	150
第57回建国記念の日を祝う宮城県民大会	500	500
建国記念の日奉祝記念行事	500	500
第126代天皇陛下お誕生日をお祝いするご記帳会	500	500
建国記念の日祝賀パレード	1,100	1,100
第135回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	100
第42回全国豊かな海づくり大会	3,000	3,000
南伊予駅開業3周年記念イベント	500	500
第136回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	0
第137回日本唱歌を歌う日の丸行進	100	40
大宮八幡宮北参道鳥居竣工清祓・潜り初め式	300	300
第138回日本唱歌を歌う日の丸行進	60	60
第139回日本唱歌を歌う日の丸行進	70	0
合計	10,400	7,590

令和4年度 公益目的事業 3 国民の健全育成事業

(1)硫黄島訪島事業
硫黄島訪島の貴重な体験と慰霊を通して、硫黄島での戦没者ご遺族や青少年などを対象に、公益社団法人日本青年会議所と共催、内閣府と厚生労働省の後援を得て、平成27年から毎年開催している。これまで、火山噴火、感染症拡大により2回中止となっており、令和4年度は、6回目の開催となった。

日 時：令和4年8月8日（月）～8月9日（火）
※渡島は8月9日

共 催：公益財団法人日本文化興隆財団
公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会
後 援：内閣府・厚生労働省
参加条件：硫黄島での戦没者御遺族関係者に限る
参加人数：21名
参加費：100,000円（一人41,293円返金）
参加費の81%がジェット燃料費



(2)建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト
令和5年2月11日の建国記念の日に開催された「建国記念の日奉祝記念 建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト」を後援し、国旗小旗の提供、審査員、職員の派遣をおこなった。
開催日：令和5年2月11日（祝）
場 所：表参道



収益事業1
物品頒布事業
公益事業の推進に資するべく、日本文化に関連した各種取扱品の頒布に努めた。

収益事業2
テナント及び貸会議室の施設運営

(1)テナント事業

次の団体がテナントとして入居している。

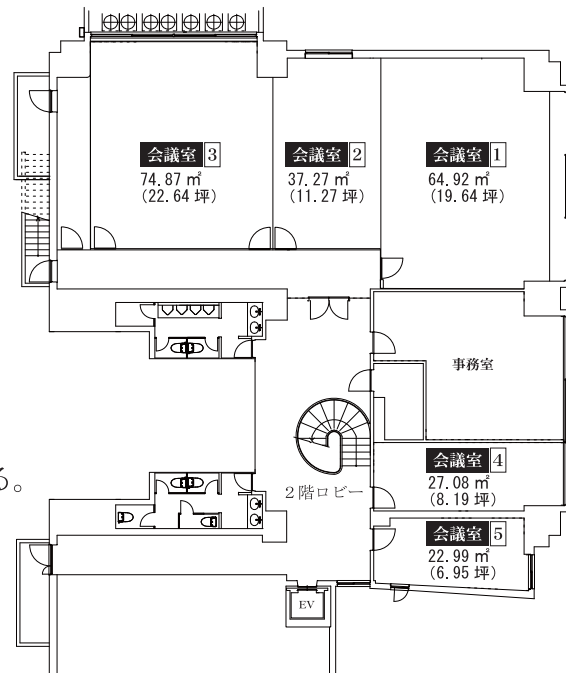
101号室 物品発送室として使用
202号室 空室（貸会議室として使用）
203号室 空室（貸会議室として使用）
204号室 一般社団法人日本国際文化協会
205号室 公益社団法人全日本仏教婦人連盟
206号室 有限会社村上

(2)貸会議室の施設運営

令和元年度より新型コロナウイルス感染症の影響で
近隣企業の各種研修会、諸会議等の利用が減少している。

貸会議室概要

第1会議室（20坪）：定員46名
第2会議室（11坪）：定員20名
第3会議室（23坪）：定員48名
第4会議室（8坪）：定員12名
第5会議室（8坪）：定員12名
令和4年度利用件数：134件（令和3年度：134件・令和2年度：193件）



第1会議室（20坪・定員46名） 第2会議室（11坪・定員20名） 第3会議室（23坪・定員48名） 第4会議室（8坪・定員16名） 第5会議室（7坪・定員12名）

(3)大規模修繕工事終了

平成17年に竣工した当財団施設及び上階マンション部については、築17年が経過し、外壁部を中心として建物全体に経年劣化がみられることから、竣工後初の大規模修繕が完了した。

【大規模修繕工事概要】

- ・工事名：コンフォリア北参道 大規模修繕工事
- ・工事目的：新築当初の美観や機能回復を図る補修工事（建物の長寿命化）
- ・工事内容：仮設工事（現場事務所・足場設置等）、屋根等防水全面改修、バルコニー床防水全面改修、住宅廊下内装改修、屋外階段防水改修、外壁塗装等工事（コンクリート補修・外壁塗装全面塗り替え・軒天塗装全面塗り替え・タイル補修・シーリング打替）鉄部塗装、その他工事
- ・工事期間：令和4年3月1日～令和4年11月30日（令和3年度～4年度にかけて施行）
- ・施工会社：株式会社シミズ・ビルライフケア
- ・工事費用：全体費用 101,167,000円税込
財団負担額 7,834,199円税込
工事費用については、全体共用部、住宅専有部、財団専有部に分け、全体共有部については、持分割合（9.0448%）だが、実質施工面積により7.7%。

役 名		氏 名	役職名
理事	理事長	田中恆清	(宗)神社本廳総長
	副理事長	吉川通泰	(宗)神社本廳理事
	理 事	市川伊三夫	久光製薬(株)取締役
	理 事	打田文博	(公財)昭和聖徳記念財団評議員
	理 事	田尾憲男	鉄道情報システム(株)特別顧問
	理 事	大原康男	國學院大學名誉教授
	理 事	内田 智	弁護士
監事	監 事	齊藤有子(高清水有子)	皇室評論家
	監 事	南部利文	(宗)神社本廳監事
評議員	評議員	小關笑子(小関 微笑子)	(一社)日本国際文化協会常務理事
	評議員	小野貴嗣	(宗)神社本廳常務理事
	評議員	藤江正謹	(宗)神社本廳常務理事
	評議員	久田哲也	(宗)神宮総務部長
	評議員	茂木貞純	元(学)國學院大學教授
	評議員	橋本寿史	(株)フジテレビジョン報道局解説員
		加藤健司	民俗芸能学会理事

理事会	日時：令和4年9月2日（金）15時00分～15時55分 場所：日本文化興隆財団会議室 出席理事：10名 【報告事項】 1、前理事会以降の職務執行状況について 2、その他 【審議事項】 1、令和3年度事業報告について 2、令和3年度決算について 3、理事・監事・評議員の異動について 4、顧問・参与の異動について 5、謝金規程の改正について 6、国民精神昂揚事業推進基金の取り崩しについて 7、定時評議員会開催について 8、その他
	日時：令和5年6月9日（金）11時02分～12時31分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席理事：8名 【報告事項】 1、前理事会以降の職務執行状況について 2、神道文化検定（神社検定）について 3、季刊誌『皇室』について 4、理事の異動について 5、その他 【審議事項】 1、令和5年度事業計画（案）について 2、令和5年度予算（案）について 3、国民精神昂揚事業推進基金の取り崩しについて 4、顧問・参与の異動について 5、その他
評議員会	日時：令和4年9月26日（月）13時03分～13時56分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席評議員：4名 【報告事項】 1、第11回神道文化検定（神社検定）開催について 2、その他 【審議事項】 1、令和3年度事業報告について 2、令和3年度決算について 3、理事・監事・評議員の異動について
監事会	日時：令和4年9月2日（金）14時3分～14時50分 場所：日本文化興隆財団会議室 出席監事：1名 1、令和3年度予備監査報告 2、令和3年度事業及び決算報告 3、諸帳簿・伝票等照合 4、監査報告書署名 5、その他
	日時：令和5年3月2日（木）14時55分～15時47分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席監事：2名 1、令和4年度中間監査報告（予備監査） 2、令和4年度事業及び決算報告（中間） 3、諸帳簿・伝票等照合 4、監査報告書署名 5、その他

令和4年度 庶務報告			
理事会	日時：令和4年9月2日（金）15時00分～15時55分 場所：日本文化興隆財団会議室 出席理事：10名 【報告事項】 1、前理事会以降の職務執行状況について 2、その他 【審議事項】 1、令和3年度事業報告について 2、令和3年度決算について 3、理事・監事・評議員の異動について 4、顧問・参与の異動について 5、謝金規程の改正について 6、国民精神昂扬事業推進基金の取り崩しについて 7、定時評議員会開催について 8、その他		
	日時：令和5年6月9日（金）11時02分～12時31分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席理事：8名 【報告事項】 1、前理事会以降の職務執行状況について 2、神道文化検定（神社検定）について 3、季刊誌『皇室』について 4、理事の異動について 5、その他 【審議事項】 1、令和5年度事業計画（案）について 2、令和5年度予算（案）について 3、国民精神昂扬事業推進基金の取り崩しについて 4、顧問・参与の異動について 5、その他		
評議員会	日時：令和4年9月26日（月）13時03分～13時56分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席評議員：4名 【報告事項】 1、第11回神道文化検定（神社検定）開催について 2、その他 【審議事項】 1、令和3年度事業報告について 2、令和3年度決算について 3、理事・監事・評議員の異動について		
監事会	日時：令和4年9月2日（金）14時3分～14時50分 場所：日本文化興隆財団会議室 出席監事：1名 1、令和3年度予備監査報告 2、令和3年度事業及び決算報告 3、諸帳簿・伝票等照合 4、監査報告書署名 5、その他		
	日時：令和5年3月2日（木）14時55分～15時47分 場所：神社本庁地下一階会議室 出席監事：2名 1、令和4年度中間監査報告（予備監査） 2、令和4年度事業及び決算報告（中間） 3、諸帳簿・伝票等照合 4、監査報告書署名 5、その他		
令和4年度事業報告 附属明細書 令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。 令和5年8月28日 公益財団法人日本文化興隆財団			